

八王子市教育委員会 殿

学校名 八王子市立甲ノ原中学校  
校長名 酒井 章 公印

### 令和7年度教育課程について(届)

このことについて、八王子市立学校の管理運営に関する規則に基づき、下記のとおりお届けします。

#### 記

#### 1 教育目標

##### (1) 学校の教育目標

生徒が心身ともに健康で自ら学び知・徳・体ともに向上し、人間性豊かな社会人に成長することを願

い、  
◎一. 向上心 一. 思いやりの心 一. 健やかな体 を育成する教育を推進する。

##### (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

###### ア 確かな学力の育成

学びの過程を振り返りながら授業改善を図り、「ユニバーサルデザイン」を通じて多様化する生徒の学習環境を整える。「個別最適な学び」で一人ひとりの特性や進度に応じた指導を行うと同時に、「協働的な学び」を通して他者とともに考え、課題解決能力を育成する。

###### イ 豊かな心の育成

生命尊重と多様性を認め合う心の育成をめざし、互いの違いを尊重しながらともに成長する力を育成する。また、寛容の精神をもち、他者の立場や考えを理解し受け入れる態度を育成するとともに「共生社会の実現」をめざし、協力し合う意識を醸成する。

###### ウ 健やかな体の育成

就寝時間等の基本的な生活習慣を整え、生涯にわたって健康で健やかな体をつくろうとする態度を育成する。また、家庭との連携を図り、スマートフォンやタブレット端末等の家庭ルールを啓発し、生徒の健全な成長を支える環境整備を推進する。

###### エ 不登校生徒への支援

保護者との十分な連携を通じて、生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、別室での対応や支援員等との連携を通じて学習保障をすることで、社会的自立をめざす。また、スクールソーシャルワーカーや関係機関との連携、ICTの積極的な活用を通じて、生徒が学校や社会とつながる機会の確保に努める。

オ 八王子市教育委員会いじめ総合対策を踏まえ、いじめ防止等の取組を効果的に実行するための方針相談しやすい環境づくり、ふれあい月間の取組、情報モラル教育、道徳教育、特別活動等を通じて生徒同士が良好な関係を構築し、生徒が安心して生活し学ぶことができる環境を整え、いじめ対応の取組を充実させる。

###### カ 一人ひとりの教育的ニーズに的確に応える特別支援教育の充実

すべての生徒が、自立して主体的な社会生活を送ることができるよう、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、生活や学習上の困難さの克服をめざし、特別支援教育を推進する。

###### キ 小中一貫教育のさらなる充実【甲ノ原中学校グループ(中野北小・清水小)】

『地域を愛し、地域に根付いた児童・生徒の育成』、『義務教育卒業時に、社会的常識や礼儀・マナー、多様な社会への対応力を身に付けた児童・生徒の育成』の具現化をめざす。

## 2 指導の重点

### (1) 各教科等

#### ア 各教科

- ①具体的な評価計画に基づき、生徒にとってねらいがわかりやすい授業づくりと單元ごとの確実な振り返りを通じて、学力の定着を図る。
- ②「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、学力調査等のデータを活用した個別最適な学びと、ペアワークやグループワークを取り入れた協働的な学びの一体的な推進を通じて学力向上を図る。
- ③ICTを日常的に活用できる環境を整え、効果的な活用の工夫を推進することにより、生徒が「文房具」としてICTを活用できる能力を育成する。
- ④外国語科（英語）では、外国語指導助手（ALT）の活用と第3学年におけるスピーキングアプリの積極的な活用を通じて、実践的なコミュニケーション能力の向上を図る。
- ⑤基礎体力向上のために、「早寝早起き朝ごはん」の活動を通じた基本的な生活習慣の定着を推進し、生活習慣の改善を図る。

#### イ 総合的な学習の時間

- ①「広い視野と確かな知識で未来を切り拓く力」を身に付けさせることを3年間のテーマとし、第1学年から段階的に地域から学ぶ内容、社会から学ぶ内容、生き方について学ぶ内容を設定し、生徒の課題対応能力と自己実現する力の育成を図る。
- ②SDGsの視点を踏まえ、協働的な学習活動を取り入れ、郷土学習（日本遺産）、環境教育、キャリア教育、国際理解教育との関連を図りながら、探究的な課題の設定と体験的な学習の充実を図る。
- ③地域防災、地域行事との関連を図りながら、地域の一員としての自覚を促す。

#### ウ 特別活動

- ①生徒会活動の充実を図り、リーダーやフォロワーの精神を養成し、協力することの大切さに気付かせながら、生活上の課題や集団の問題を解決させ、主体的に行動できる態度を育成する。
- ②学校行事や集団的宿泊行事、委員会活動等を通じて、生徒相互の人間関係を豊かに育むとともに、集団生活の向上を図るために、集団の課題や問題を学習活動として取り上げ、人間関係の形成や合意形成を図りながら解決する力を養う。

### (2) 特別の教科 道徳を要とする道徳教育

- ①道徳教育全体計画及び別葉を基に、目標やテーマを明確に設定することで教師と生徒が共通の理解を持つ。中でも、重点的に指導する内容項目として「相互理解、寛容」「よりよい学校生活、集団生活の充実」を設定し、学校における集団生活の向上に努めるとともに、「考え、議論する道徳」を推進する。
- ②保護者・地域と連携し、道徳授業地区公開講座をはじめとした学校行事等への参加を促し、保護者・地域と共に、思いやりの心や生命尊重の心を育成する。

### (3) キャリア教育

- ①職場体験等を含む体系的なキャリア教育を推進することにより、社会における自らの役割や将来の生き方・働き方等について考えるとともに、目標を立てながら計画的に自己実現を図る力を育成する。
- ②小中一貫教育グループ校で連携して「はちおうじっ子キャリア・パスポート」を年2回（7月と12月）の面談に活用し、義務教育9年間を通じて自分らしい生き方を実現できるようにする。

## (4) 特別支援教育

- ①生活や学習上の困難を克服するために、1人1台の学習用端末を活用した学習支援や教育的ニーズに応じた別室指導を行うことで、生徒の学びの機会の充実を図る。
- ②学校生活支援シート及び個別指導計画を活用し、教職員間や特別支援教室の巡回訪問指導教員と綿密に共通理解を図りながら、生徒一人ひとりの状況に合わせて丁寧に支援する。
- ③これまでの副籍交流の実施状況及びその取組や成果を踏まえ、障害のある生徒と障害のない生徒が共に学べる環境づくりを行う。

## (5) 生活指導

## ア 生活指導

- ①「自己決定・調和」を指導の重点目標とし、生徒に多くの自己決定の機会を与え、生徒自ら考えながら主体的な学校生活を築くことで、調和のとれた学校生活の実現と生活指導の充実を図る。
- ②生徒の安全における取組や自己を守るために必要な知識や行動を身に付けるために、セーフティ教室は薬物乱用防止をテーマとして実施する。また、効果的な安全指導と避難訓練、地域防災訓練を実施する。
- ③「生命（いのち）の安全教育（指導の手引き）」の内容を踏まえて授業を行うとともに、生徒が多様性を認め、自分と他人を尊重し、安心して過ごせる環境や相談しやすい体制を整備する。

## イ いじめ防止等の取組

- ①週1回確保する「いじめ対応のための時間」は、「八王子市教育委員会いじめ防止等に関する基本的な方針」や「学校いじめ防止基本方針」等に基づき、生徒の些細な変化を見逃さないように、生徒の状況把握と情報交換を丁寧に行う。
- ②子ども見守りシート、三者面談、いじめ防止アンケート、月2回の生活アンケートを全学年で実施し、悩みやSOSの早期発見に努める。また、Q-Uアンケートを全学年で実施し、学級診断アセスメントとして活用する。
- ③「八王子市いのちの大切さを共に考える日」や「赤ちゃんふれあい事業」等の取組を通じて、関係機関と連携しながら、自他の生命を尊重する心情を育てる。

## ウ 不登校生徒への支援等

- ①登校支援コーディネーターを核として、不登校対応巡回教員、保護者、関係機関との連携と教育相談の充実を図り、一人ひとりの自立と成長を促す。
- ②ボランティア等と連携し、レクリエーション活動等ができる居場所をつくり、生徒の社会的自立を図る。また、社会や人とつながる機会や学習機会の提供に努め、生徒の状況に応じて教室復帰の支援をする。

## (6) 特色ある教育活動

## ア 義務教育9年間を見通した小中一貫教育の取組

- (取組1) 小中合同のグループを編成し、保護者にも協力を得て、中学生がリーダーとなった防災訓練を行う。
- (取組2) 小学校の授業を参観し、学力定着プロジェクトチームを核とした、主体的・対話的で深い学びをめざした取組（小学校）と学習指導要領に即した考えさせる授業、基礎基本の徹底（中学校）の取組を共有する。
- (取組3) 分科会メンバーが定期的に集合（オンラインの場合もある）し、児童・生徒の学習・生活面の情報交換を行う。
- (取組4) 地域や保護者の協力を得て、甲ノ原中学校グループの児童生徒を同一日に保護者に引き渡す訓練を行う。

## イ 学力向上の取組

- ①「はちおうじっ子ミニマム」等の結果を踏まえ、克服すべき課題を明確にしてから、地域人材等を活用した毎週水曜日の放課後学習教室、長期休業期間中の補習教室等に臨むことで、基礎学力の定着を図る。

## ウ その他

- ①情報リテラシーを向上させるために、情報活用能力系統表に基づき、適切な情報収集や情報発信の方法を理解し、実践的な活動を通して、理論だけでなく、現実の問題に即した情報活用能力を養う。
- ②甲中2020として、生徒一人ひとりの人生の糧となるようなレガシーを形成するため、地域清掃、地域行事や地域防災など社会奉仕の精神を養う取組によりボランティアマインドを醸成する。
- ③外部の専門家や地域のスポーツ団体と連携した部活動改革を推進することで、より安全で充実した活動を実現する。